

令和5年(2023)年度主な事業計画

高齢者福祉事業

- ・ふれあい会食
土合公民館 6月22日、11月16日
栄和公民館 6月17日、11月18日
- ・敬老事業
第1支部
お祝い品配布
『敬老のつどい』 9月30日
土合小学校、新開小学校
- 第3支部
お祝い品配布
- ・出前うたごえ喫茶 随時
- ・ハーブミニコンサート 随時
- ・各種見守り活動
- ・高齢者サロン連絡会

児童福祉事業

- ・プチうんどうかいごっこ 6月27日
- ・ママたちもりフレッシュ!
親子で楽しみましょう!
9月7日～毎木曜日全5回
(土合公民館共催)
- ・ちびっこハロウィンパーティー
栄和公民館 10月18日
土合公民館 10月25日
- ・ママと赤ちゃんのふれあい広場
ークリスマス会ー
土合公民館 11月28日
- ・親子でにっこりクリスマス
栄和公民館 12月20日
- ・なかよし文庫支援
毎週木曜 開室

その他の事業

- ・盲導犬学校キャラバン(調整中)
- ・賛助会員募集活動 通年
- ・赤い羽根共同募金 10月1日～
- ・桜区区民ふれあいまつり参加
10月21日
- ・歳末たすけあい運動 10月下旬
- ・車いす短期貸出事業 随時
- ・フードドライブ事業 随時
フードバンク埼玉への支援
フードパントリーへの支援
- ・広報紙『域(さかい)』年2回発行

土合地区社会福祉協議会
電話：048-826-5993 平日 10:00～16:00



土合あれこれ 15 西堀日向の歴史の道をたどって ぱーと②

前号に続き、古道と野道を歩きます。柵稲荷から東に少し歩くと不動堂があります。日向不動堂といい、明治4年の廃仏毀釈により廃寺となった長福寺のお堂でしたが、墓地のあるお堂は残りました。長福寺は、現在門前自治会館の建つ隣の墓地にその名が書かれており、寺跡として残っています。

日向不動堂の周辺には多くの伝承や史跡があります。これらの伝承は江戸幕府が文化文政期に編纂した『新編武蔵風土記稿』の西堀村の不動堂の項に書かれています。要約すると、「この辺りに悪鬼がおり住民を苦しめていたのを弘法大師が諸国遍歴の折に、ここを訪れ、嘆く



のを憐れんで伝教大師の不動尊を受け、崇敬したお陰で住民は平和を得、尊像を祀り建てたのがこの堂である。それから時が経ち建久の頃、畠山重忠がこの地を拝領し、家臣の真嶋日向守は城を築きここに住み不動尊を守り本尊として崇敬した。故にこの地は今も日向不動と號している。」となります。

伝承には、真言宗の祖である弘法大師(空海)と天台宗の祖である伝教大師(最澄)が同時に現れています。私見ですが、平安時代(794～)に弘法大師の教えを布教する高野聖が関東行脚の折、ここに立ち寄ったと考えています。弘法大師が来たという伝説は田島の薬王院、与野の二度栗山にも同様に残っています。そして伝教大師についても、弘仁5年(814)最澄の東国巡錫(とうこくじゅんよう)で、天台の教えを布教する僧侶がいたのだと考えます。そのようなことから、両宗が混ざり合ったかたちで、苦勞していた村人の心を鎮めたということに繋がるのでは、と思うのです。

また、遺跡・真鳥日向守城跡の項には「この城跡を真鳥山と呼ぶ。廻に堀をかまえた跡がある。傍に祠あり真鳥稲荷と号す。是は日向守が靈を祀った為という。享保年中に鴻沼新開のとき当所の土を掘ったが、中から錆朽ちた鎧刀等、或は鉄砲の玉などが出たという。」とあります。

ここに登場する、畠山重忠の家臣の真鳥日向守が生きた時代は鎌倉時代。西暦1100年代です。鉄砲が種子島に伝わった時代の約400年前です。また、日向で合戦があったという伝承もないようです。享保年間(1716～)に出土した「錆朽ちた鎧刀等、或いは鉄砲の玉など」の記述は、科学的な時代考証が無かった頃のことですので、仮説としては齟齬(そご)があるようにも思えます。

日向不動堂は「足立百不動」という巡礼道の寺でもあります。さいたま市、川口市、戸田市、蕨市の寺を巡る道でしたが、今は多くが廃寺になっています。安政5年(1858)に再版された『巡拝記』によると「29里15丁半」、全長約115.5kmの道のりでした。日向不動堂の御開扉は今も12年に1度の酉年に行われています。

さて、不動堂の境内には大きな石が2つあります。石にはそれぞれ「不六斗七升日向」(米換算で約100kg)、「八斗不動王」(約120kg)と彫られています。これは力石です。力石は、持ち上げて力試しに用いられました。江戸から明治期には鍛錬や娯楽のために盛んに行われていたそうです。人が集まるご縁日などで日ごろの成果を見せる力比べでもしたのかな…お堂の軒先の力石を見ながら楽しい想像ができます。



次は、この高台を更に南下して行きます。

(いはら)



緊急と広域のふたつの避難所、ご自身の場所は把握できましたでしょうか。令和4年2月発行の「域」16号の『桜区広域避難所特集号』と合わせて御覧いただき、日頃の防災活動にお役立てください。(FO)

「賛助会員」加入のお願い
～みんなで進める地域の福祉～

☆種類と会費
(1口あたり年額)

一般賛助会員 / 300円 個人賛助会員 / 1,000円
団体賛助会員 / 5,000円 特別賛助会員 / 10,000円